

THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



2008～2009年度 国際ロータリー 李 東建（リー・ドンカン）会長テーマ

Make Dreams Real 夢をかたちに

創立 1954年3月8日
承認 1954年3月30日例会日時 毎週月曜日
12:30～13:30
例会場 刈谷市新栄町3の26
刈谷商工会議所内
事務所 TEL (0566)22-2111
FAX (0566)25-2111
メール kariyarc@katch.ne.jp
ホームページ http://www.kariya-rotary.com
会長 塚本 幸夫
幹事 廣根 実
会報委員長 今村 順

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

第2605回例会プログラム

[当年度 = 6 回目；当月 = 4 週目]

2008年（平成20年）8月25日（月）

〈司会：プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム
- 12:30 2. 点鐘……〈会長〉
3. 開会宣言
4. ロータリーソング斉唱
……日も風も星も
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介
6. 食事
- 12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告
8. 幹事報告
9. 出席報告
10. 委員会報告
11. ニコニコボックス報告
12. 次週並びに次々週のプログラムの予告
(9/1)……卓話
講師 かえるスポーツクラブ
会長 星野 勝利 様
(紹介者 毛受 豊 会員)
- (9/10)……職場例会（職業奉仕委員会）
12:30～碧南火力発電所
※9月8日（月）の例会変更分です。
- 13:00 13. 本日のプログラム
新入会員アワー
白濱 重人 会員
伊藤 禎康 会員
14. 謝辞
15. 点鐘……〈会長〉
16. 閉会宣言
- 13:30 17. 散会

ビ ジ タ ー

鈴木 孝則 様（あま RC）
宗 保 様（知立 RC）

地区研修委員長 あま RC 鈴木 孝則 様

出 席

会員総数 94名 出席免除 20名
出席義務者+免除者の内例会出席者 87名
欠席 5名 出席率 94.25%
前々回（8/4）の修正出席率 100%

会 長 報 告

1) 8月21日に開催された、本年度第2回のゴルフ例会において、石川博之会員がグロス88、ネット70の2アンダーで見事優勝されました。

幹 事 報 告

1) 本日、例会終了後に第3回の理事会を開催いたします。関係の皆様のご出席をよろしくお願いいたします。

会 長 あ い さ つ

じょうさいや
定 齊 屋

塚本 幸夫



江戸時代のはやり病を、諺や川柳にみることができます。「目病み女に鼻風邪男」という諺があります。トラホームで目を患った女の人が涙ぐむ目、鼻風邪をひいた男が鼻にかかった甘い声で話す様子、いずれも色っぽい男女を言い表したものです。

これは、江戸時代の代表的なやり病を揶揄したものです。

「年寄りの冷や水」という諺があります。夏、天秤を担いだぼてふりが、玉川上水あたりの水に砂糖で甘みを付けたものを、「冷や水」と売り声をかけながら歩いていました。夏の暑さによる体力の消耗と、免疫力の低下した老人が、このような水を飲めば下痢を起こします。「年寄りの冷や水」とは、当時老人の間に夏場非常に下痢が流行していたことに由来します。

「下女が足、熊野伝三に入れあげる」これは、冬の寒さに町人達はひびやあかぎれに悩まされていました。このひび、あかぎれ、切り傷に効能があった「熊野伝三が膏薬」を手にひび、あかぎれの女の人が買い求めた姿を詠んだ川柳です。

当時は皆、薬の行商の売薬で済ませていました。その代表が、膏薬売り、がまの油^{むらたしじょうさい}を定齊屋です。定齊屋とは、桃山時代に堺の薬種問屋・村田定齊が明人から薬の製法を伝授され、処方したという夏の諸病に効ある煎じ薬を、半纏と黒のPATCHを身につけた男が、小さな引き出しがたくさん付いた薬味筆筒一対を、檜の天秤棒の前後に付けて肩に担ぎ、鑢（かん）をならしながら行商して歩く夏場だけの薬売りのことです。

落語「品川心中」に、まるで定齊屋という言葉自体、落語にみる以外は死語になってしまいました。そして、40年ほど前まで浅井万金膏と称してあさりの貝殻に入れて、ひび、あかぎれの黒い軟膏が売られていましたが、今日では、もう目にすることはできません。

私は、このところ、ゴルフにお酒に麻雀と、まさに青春を謳歌しておりますが、妻からは「年寄りの冷や水ですよ」と言われて、夫婦の会話が途絶えてしまったことがあります。（笑）

第3回理事会

- I 会長挨拶 <会長>
- II 議題
 - 1. 9・10月のプログラム（案）について
 - <クラブ奉仕委員長>
 - <プログラム委員長>
 - 2. 第56回全国選抜大学・実業団相撲刈谷大会協賛について
 - <社会奉仕委員長>
 - 3. ロータリークラブ杯
小学5年生サッカー大会ご協賛継続のお願いについて
 - <新世代委員長>
 - 4. ロータリー1億ドルのチャレンジへのご協力について
 - <ロータリー財団委員長>
 - 5. ガバナー補佐訪問について <幹事>
 - 6. その他

新人会員アワー

白濱・井上法律事務所代表 白濱 重人 会員



私は昭和25年1月、豊田市のトヨタ自動車の丸山社宅で生まれました。

父は鹿児島出身でトヨタ自動車に勤め、豊田市の市議会議員をしておりました。母は、碧南出身で、父と結婚する前は、刈谷商業高校の教員をしていました。兄弟は、姉が2人います。子供は、息子2人です。

昭和27年3月に父が病死したため、母親の実家に戻り、母は碧南高校の事務員などをして子供3人を女手ひとつで育ててくれました。

小学校は新川小学校、中学は新川中学、高校は刈谷高校、大学は名古屋大学。刈谷高校は、昭和43年卒業で、同級生の中の親友に石川内科の石川平八君がいます。

大学は、いわゆる70年安保の時代で、学生が悩んでいた時で、私も、卒業後何をしてよいか分からず就職活動も何もせずにはいました。そんな時、家庭教師先のお母さんから「子供でも教えたら？」と勧められ、とりあえず大学4年生の10月に碧南市で「白濱塾」という学習塾を始めました。子供を教える楽しさから一時これに没頭し、生徒も200人近くになっていました。

ただ、それでも何か物足りなさを感じ、また交際していた彼女の親から「塾の先生なんかうちの娘はやれん！」と言われて発奮し、28歳から司法試験の勉強を本格的に始め、30歳で合格。

33歳（昭和58年）で結婚し、碧南市から知立市に転居。名古屋市中区丸の内の水谷博昭法律事務所に入所、昭和61年独立して名古屋市丸の内白濱法律事務所を開所。昨年10月刈谷市若松町に事務所を移転、現在に至っております。

「専門は？」という質問をよく受けますが、弁護士業界で専門化されている分野は、「渉外」、「知的財産権」、「医療過誤」といった程度で、ほとんどの弁護士は、通常あらゆる分野をカバーしています。私も同様で、不動産・建築・売掛金回収・貸金・手形小切手・交通事故・労災事故・賃貸借といった民事事件、破産・再生・任意整理といった倒産事件、離婚・相続といった家事事件、さらには刑事事件などあらゆる事件をやります。ただ、先ほどの3つの分野と、死刑事件・少年事件はやらないようにしています。

現在の弁護士の業界は、深刻な問題に直面しています。それは、「聖域なき構造改革」の波に洗われ、それまで年間500人だった司法試験合格者を3,000人まで増員する「改革」により、弁護士の数が急激に増え、それに伴って、若い弁護士の就職難という問題が生じています。

その結果、現在では既に弁護士になっても就職先が見つからず、「ノキ弁」さらには「タク弁」という弁護士まで現れており、今後弁護士の質の低下が危惧されています。弁護士の選択には注意が必要です。

皆様とはロータリーでお知り合いになれた縁ですので、何なりとご相談下さい。

アイシン開発 常勤監査役 伊藤 禎康 会員



この度、権田銀弘会員のご推薦により、刈谷ロータリークラブの会員になりましたことはとても光栄に思っています。また、本日は貴重な時間をいただきましたので、私の育った豊橋のこと、会社のこと、趣味のことについて少し話をさせていただきます。

豊橋は、終戦までは軍都であり、また製糸の盛んな土地でした。有名な歩兵18連隊で象徴されていますし、製糸の方も日紡（ユニチカ）の豊橋工場に代表される紡績会社が多くありました。私の時代の学校といえば、ほとんどが旧軍隊の兵舎の跡が使われていました。

ご存知の方もお見えになるかとは思いますが、伴淳三郎の「二等兵物語」は愛知大学の豊橋校（騎兵隊が駐屯していました）が使われていました。また、全国的にも少なくなった路面電車が、大正14年12月開通以来83年間、現在も市電として親しまれ、市民の足として走っています。豊橋市の人口は約38万人、東は夕張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に面しており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれています。

現在は、自動車の輸入台数・金額とも「全国第1位」を誇る豊橋港を中心に臨海工業地帯が形成され、練兵場跡地を戦後開拓した農地には、豊かな野菜が実り、農業粗生産額日本一を誇り、また国立豊橋技術科学大学を核に産・学・官が連携して地域産業の活性化と技術力の向上を推進する「サイエンスクリエイト21」計画が進められている地域です。

ここで、私自身の職歴を簡単に紹介させていただきます。

昭和41年4月に当時の富士工務店に入社（刈谷との繋がりの始まりです）以来、建築関係の種々の業務に従事し、50年代からは設計業務を主に各プロジェクトに参加。平成10年から5年間は、ISO9002、14001の認証取得の業務に従事。取得後、平成15年から不動産事業に従事し、特にトヨタホーム拡販用の宅地開発を中心に、デベロッパーとしての業務を推進、平成18年から経営管理本部、平成19年から現職に就いています。

その間、平成5年12月に関係3社合併でアイシン開発となり、おかげさまで今年で15周年を迎えます。また、本年4月にはアイシンリビングプランナーと統合し、新生アイシン開発としてスタートしています。この統合により従来の建築・土木・緑化・プラントサポート・不動産・保険代理業・都市開発事業に、新たにリフォーム事業のアイシンリプランとリース事業が加わり、事業展開をしています。

昨今の建設業界は、偽装事件に始まった確認申請の取り扱いの法規改正による確認許可の期間の問題、少し落ち着いた気配はあるようですが、主要建設資材の高騰に

よる課題を抱えている中、当社はグループの基本理念としての「品質至上」を使命として掲げ、事業展開をしています。

特に「住む」関係では「未来品質」を掲げ、お客様に安全・安心の提供を目指し活動を行っています。

全社活動として、企業体質強化を目的としたVE活動も6年目を迎え、この7月にはマイルズ賞を受審しました。審査結果は10月に発表されます。

ここでVEの説明をさせていただきます。VE（バリューエンジニアリング）は、目的物の機能を低下させずにコストを低減する、あるいは同等のコストで機能を向上させる技術のことであり、VEを実践することで目的意識が明確になり、何をすべきかはっきりすることで社員に使命感が湧き、常に先を見てできるようになっています。現在は、協力会社も巻きこんだ活動を展開し、ものづくりへのこだわりを持った企業、すなわちエクセレントカンパニーを目指しています。

個人的には、趣味として、映画（特に洋画のアクション物）、音楽鑑賞（ジャンル問わず）、ゴルフは下手の横好きで、ハンディキャップの向上のため、実らぬ努力をしています。主戦場は、豊川の平尾カントリー、キャッスルヒルカントリーです。

ライフワークとしては、設計技術屋としての色気も少し残っており、老人施設の設計のための情報収集、企画をしています。これは現在、当社が企画推進して、来年3月の開設を目指している大府での住宅型有料ホーム「さわやかなの丘」がきっかけです。

今年1月入会させていただいてから約半年になり、少し雰囲気になれたところと思っています。塚本会長の言葉にもあるように、『楽しく』をモットーに活動していきたいと思います。よろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。

8月度刈谷RCゴルフ例会

平成20年8月21日(木)

於：ロイヤルカントリークラブ

成績	氏名	G	H	N
優勝	石川 博之	88	18	70
2位	盛田 豊一	76	5	71
3位	南 健	78	7	71
B B	鈴木 豊	98	10	88

